

InSEA 宣言

私たちは信じます：

年齢、国籍、背景にかかわらず、すべての学習者は、視覚芸術教育を享受する権利を持つべきです。

美術を通じた教育は文化の知識、理解、想像を鼓舞します。

文化は基本的な人の権利です。文化は現社会において社会正義や社会参加を促します。強靱な民主主義はインクルーシブな社会です。そして、インクルーシブな社会は強靱な民主主義です。

全ての学習者は、深く彼らを彼らの世界や彼等の文化史へ結びつけることができる美術教育を受ける権利があります。

教育的プログラムやカリキュラムモデルは、市民に自信を持ってしなやかな知性、創造的な言語的または非言語的コミュニケーションスキルを準備する。

視覚芸術教育は、学習者に彼ら自身、彼らの創造性、価値、倫理、社会や文化を発見する可能性や機会を開きます。

視覚芸術教育は、文脈における美術の知識、理解や創造を通して創造的な実践の理解を促します。

視覚芸術教育は、批評的かつ想像力豊かに考える能力を伸ばし、異文化間の理解を促進し、文化的多様性への共感を伴う関わりを目的とします。

視覚芸術教育は、開発の過程であり、体系的に何年にもわたって提供されるべきです。

視覚芸術教育は、視覚リテラシーや美的評価に重点を置き、広範囲のリテラシーや美的性質を発達させます。

視覚リテラシーは今日の世界では必須のスキルです。それは、視覚コミュニケーションの真価を認めて理解することや批評的分析と意味のあるイメージをつくる力を推奨します。

美術は、他教科での学びを向上させる転移可能なスキルの発達を促します。

学校での視覚芸術は児童、生徒が自信や自尊心を積み上げ、自分自身を理解することを助ける、また、彼ら自身がより良くあることにおおいに貢献します。